

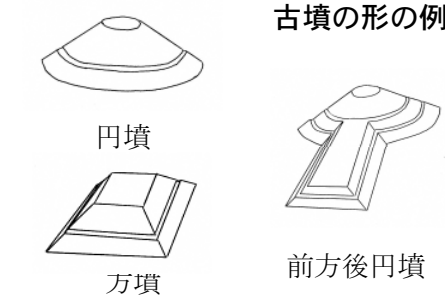
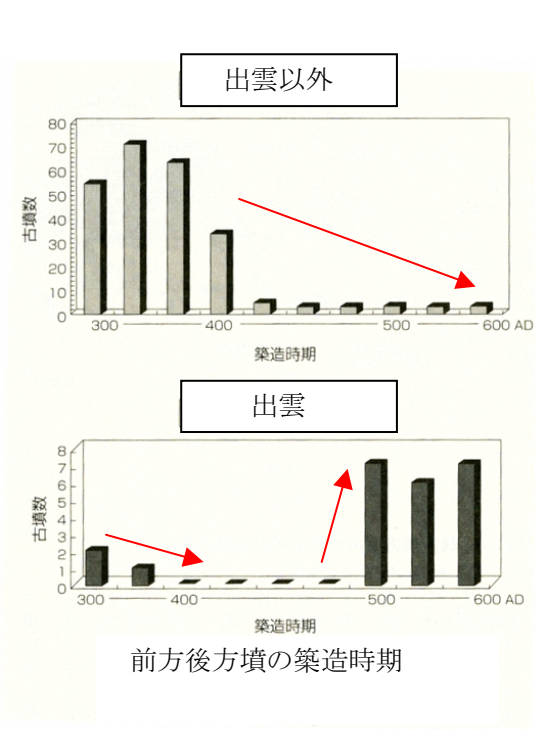
No.3	時代	古墳時代	遺跡	古曽志大谷 1 号墳（松江市）
古代出雲の古墳の形は？				
古墳には様々な形がありますが、古代の出雲では古墳時代の後半（6 世紀）に全国でも珍しい前方後方墳がたくさん作られるようになりました。松江市の古曽志大谷 1 号墳は実物大に復元され、2 段築成の様子や葺石が忠実に再現されています。				



発掘調査で全容をあらわした
古曽志大谷 1 号墳



実物大に復元された古曽志大谷 1 号墳。全長 45.7m、
2 段築成で約 400 個の埴輪も置かれている。



学習のポイント

○古代出雲では前方後方墳という独特の形をした古墳が作られた。

○周辺には有力な権力者がいて、この地域を治めていた。

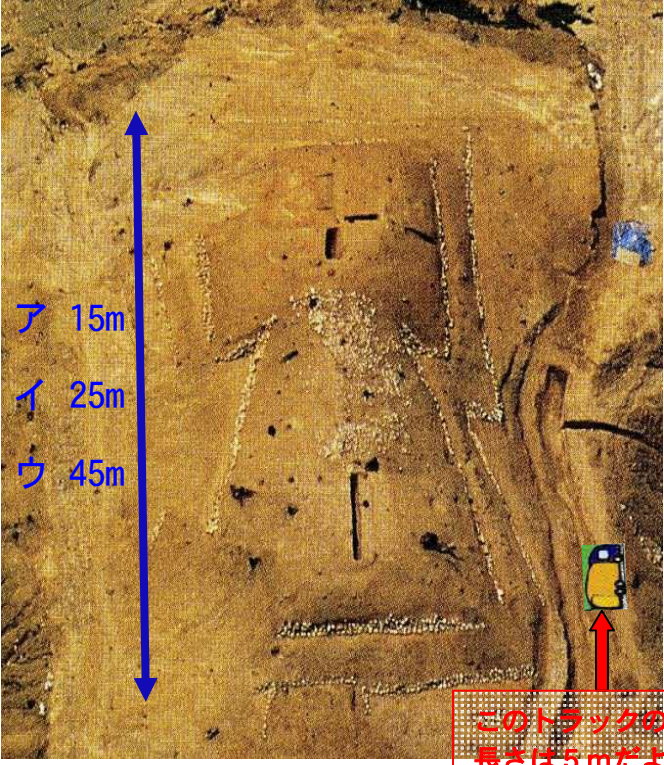
グラフから、前方後方墳は、古墳時代の中期になると、全国的にほとんど姿を消してしまうが、なぜか出雲では後期まで作られたことがわかる。

資料の出典	「いにしへの島根ガイドブック 3 巻・7 巻」 1996 島根県古代文化センター 「古代出雲歴史博物館 展示ガイド」 2007 古代出雲歴史博物館
-------	--

古代出雲の古墳の形は？

古墳には様々な形がありますが、古代の出雲では古墳時代の後半（6 世紀）に全国でもめずらしい形の古墳がたくさん作られるようになりました。松江市の古曽志大谷 1 号墳は実物大に復元され、2 段になっている様子や葺石が忠実に再現されています。

松江市古曽志町で見つかった古曽志大谷 1 号墳の発掘調査の様子です。



上の 2 枚の写真を見て、気がついたことや思ったことを書こう!!

古曽志大谷 1 号墳にはどんな人が埋葬されていたのだろう？

- 古墳の形を色えんぴつでなぞってみよう。
- 古墳の全長はどのくらいかな？



これは何でしょう。

～ヒント～
古墳のまわりにたくさんならんでいるよ。

